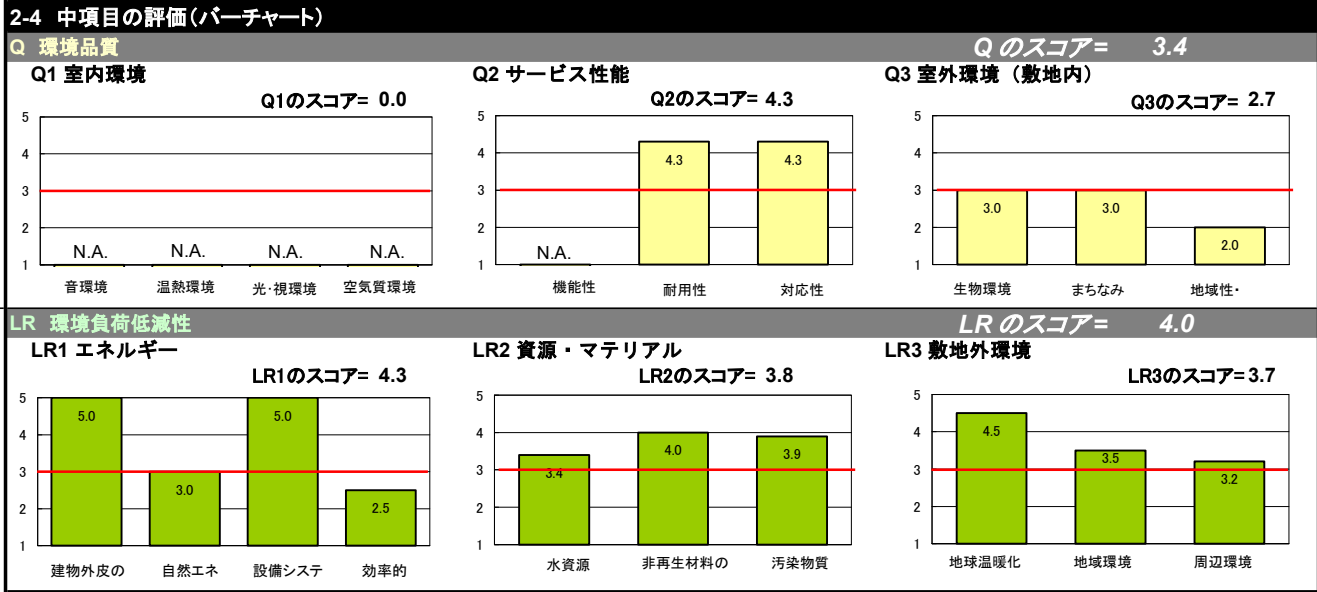
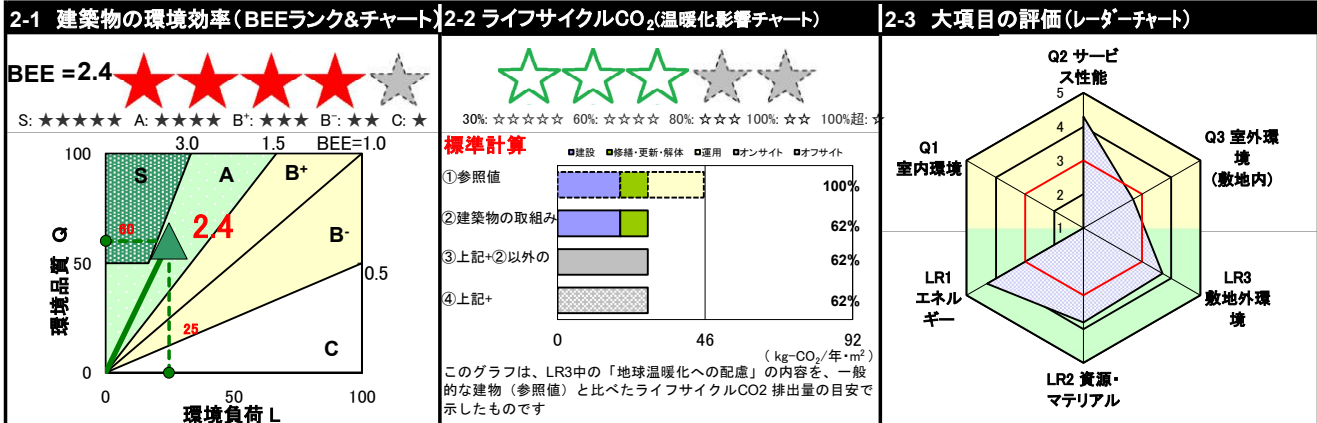


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_連絡版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.5))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	高槻ロジスティクスセンター	階数	地上4F
建設地	大阪府高槻市下田部町	構造	S造
用途地域	準工業地域、工業地域、準防火地域	平均居住人員	521 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2025年6月 予定	評価の実施日	2025年4月11日
敷地面積	29,347 m ²	作成者	株式会社イズミコンサルティング
建築面積	18,963 m ²	確認日	2025年4月11日
延床面積	63,253 m ²	確認者	前田建設工業株式会社 池田 栄二



3 設計上の配慮事項		
総合		
大阪府高槻市に計画された倉庫である。 リサイクル材の採用や積極的な緑化により、環境負荷の低減に配慮した建物である。		
その他		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・評価対象外	・耐用年数の長い材料の採用により、建物の維持管理に配慮している。	・周辺環境に配慮し、境界線沿いには植栽を設けている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・LED照明等の高効率な設備機器を導入している。	・節水器具の採用や材料使用量の削減により資源の保護に配慮している。	・燃焼機器は使用せず、大気汚染防止に配慮している。 ・周辺への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される